

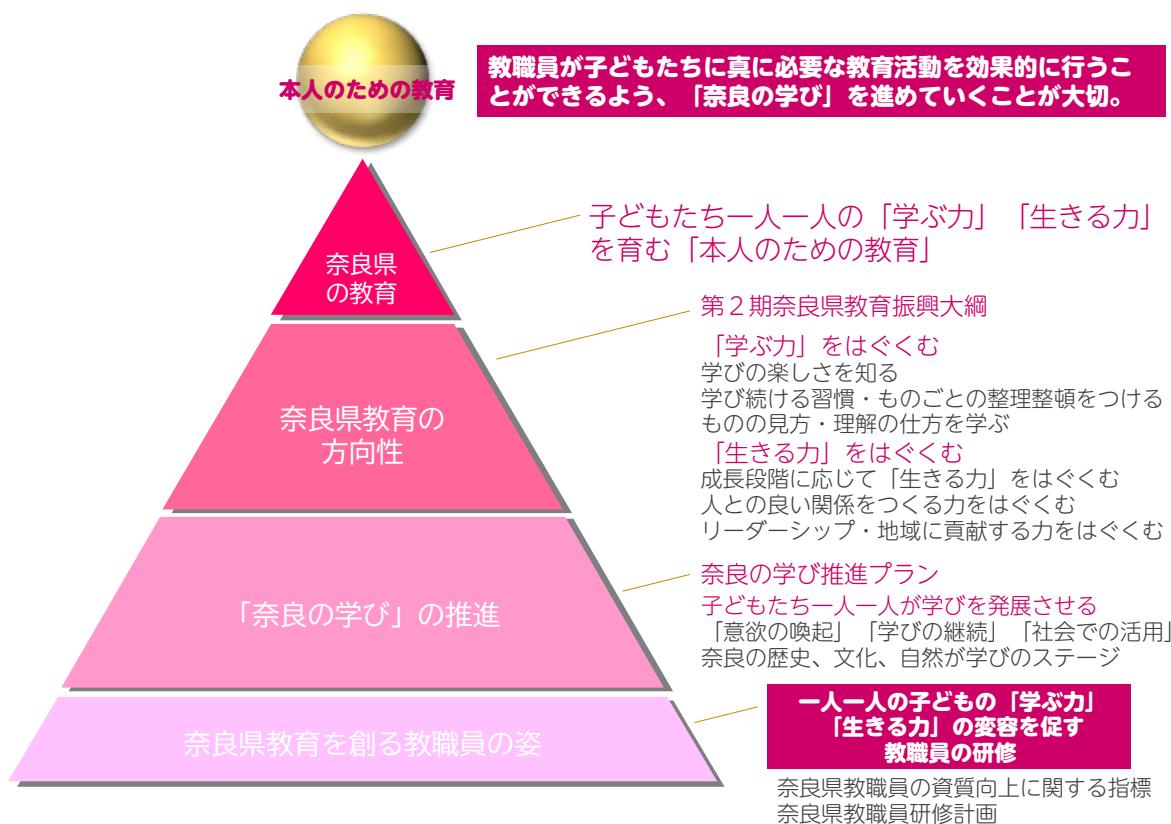
3 奈良県教職員研修の実施方針

(1) 教職員研修の基本方針

奈良県では、「第2期奈良県教育振興大綱」において、子どもたち一人一人の「学ぶ力」と「生きる力」を育む「本人のための教育」を行うことを、本県教育が目指す方向性としています。これを踏まえ、県教育委員会では、本県ならではの「奈良の学び」を掲げた「奈良の学び推進プラン」を策定しています。

「奈良の学び」は、子どもたち一人一人が学びを発展させることを重視しています。子どもたちの学習意欲を喚起し、その意欲のもと自ら学習を継続する態度を身に付け、そして、学習で得られた資質・能力を社会の中で発揮しようとする一連のプロセス、すなわち「意欲の喚起」「学びの継続」「社会での活用」というフローを実現することで、学びをより高めることを目指しています。また、奈良県は、三つの世界遺産を有する歴史、文化、自然に恵まれた地です。奈良でしかできない学びとして、この歴史、文化、自然を学びのステージとして活用することで、より子どもたちの学びを深めていきたいと考えています。

この「奈良の学び」の実現に向けて取り組んでいけるよう、本県教職員には「専門的力量」、「人間的な魅力・人間性」、「学び続ける意欲」の三つの資質向上を図るために教職員研修を実施します。また、指標に基づき、キャリアステージごとに示された資質・能力の育成を図る効果的・効率的な研修を計画・実施していきます。



(2) 「奈良の学び」の実現に向けた具体的な方策

ア 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

- ・学習指導要領に示されている「主体的・対話的で深い学び」の実現のため、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた研修等を計画し、教職員の資質向上を図ります。
- ・「個別最適な学び」及び「協働的な学び」の一体的な充実に向けた、教職員のICT活用指導力を高めるとともに、学習の基盤となる資質・能力である児童生徒の情報活用能力を育成するための内容を取り入れた研修を行っていきます。
- ・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた調査研究を行います。また、研究成果としての授業実践等の好事例を広く周知し、県内の教職員による「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業実践が実現できるよう、普及させる取組を実施していきます。

イ 専門性や個性の伸長を図るための研修体系の整備

- ・令和4年8月に策定された「公立の小学校等の校長及び教員としての資質の向上に関する指標の策定に関する指針」において示された、「令和の日本型学校教育」を担う教師に求められる資質・能力を基に本県教職員に求められる資質・能力を再整理し、指標を改定します。
- ・令和4年答申で示された教職生活を通じた「新たな学びの姿」の実現に向け、教職員と学校管理職等との積極的な対話を踏まえた学びの機会の提供と、教職員自らが主体的に行う学びとが相まって、変化を前向きに受け止め、探究心を持ちつつ自律的に学び続ける次世代型教職員研修システムを構築します。
- ・学校教育全体に係る内容や奈良県教育の課題等に関する内容の研修講座について、奈良県教職員の資質向上に関する指標を踏まえ、キャリアステージに応じた体系的かつ効果的に実施するための計画を策定し、学び続ける教職員を支援します。

ウ 研修講座の内容の充実

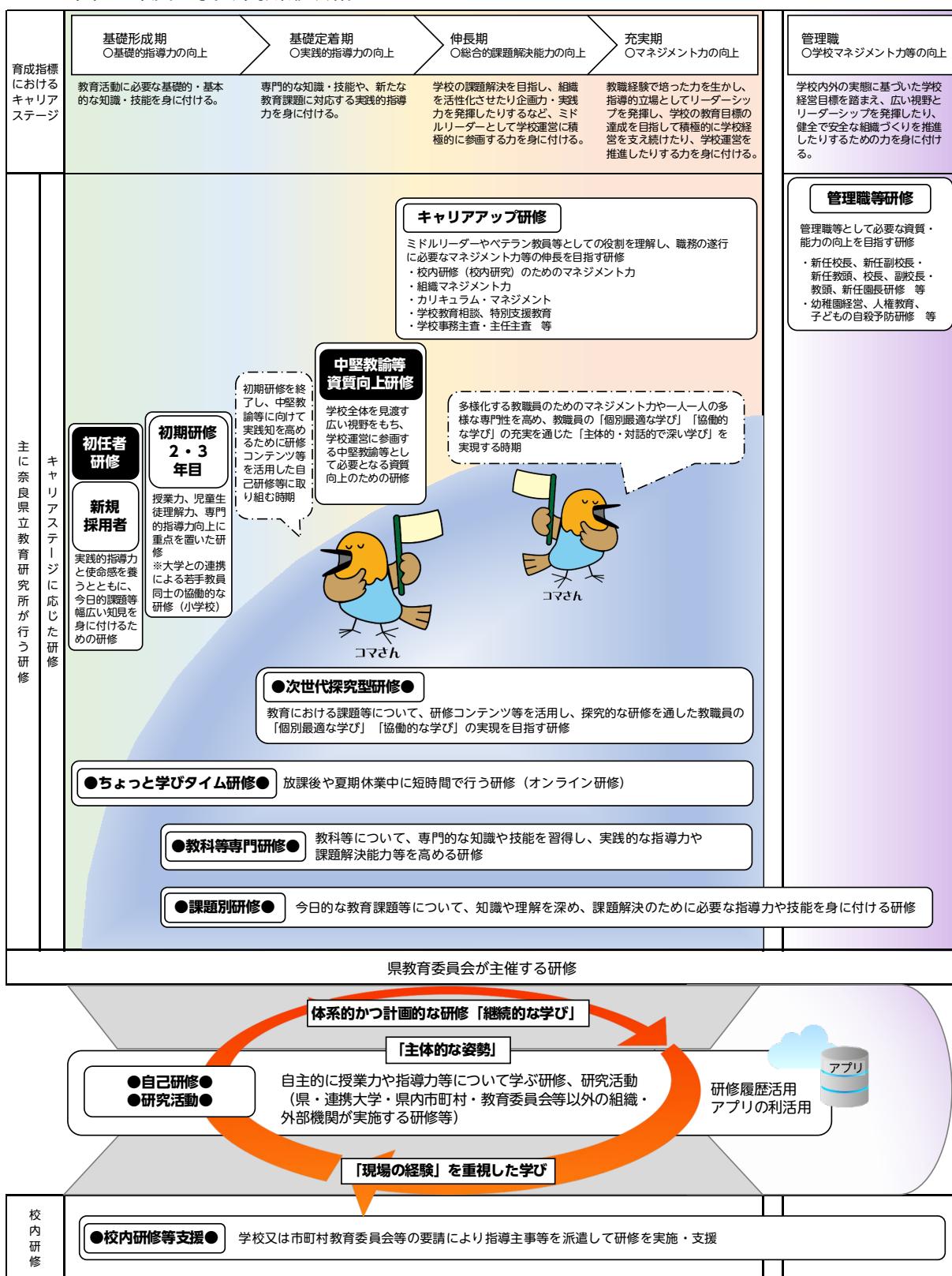
- ・令和3年審議まとめでは、研修は各教師にとって「有意義なものとなるような質を備えていなければならぬ」と示されていることから、教職員の研修について、明確な目的・目標を設定します。
- ・教職員が新たな領域の専門性を身に付けるなど、強みを伸ばすための学びは、一人一人の教職員の個性に即した、個別最適な学びが必要となります。一方、個別最適な学びとの往還も意識しながら、他者との対話や振り返りなどの機会を確保するなど、「協働的な教師の学び」も必要です。そのため、オンライン等の手法であっても、小グループを形成して、互いに学び会う機会を設定する等の方法で協働的な学びを実現するなど、様々な機会を捉えて多様な形の研修を計画していきます。
- ・研修における学習コンテンツは理論的なものと実践的なもの、いわゆる「一斉学習」と「自律的学習」がバランスよく含まれるとともに、ハウツーを伝えるものに留まらない、本質を捉えるような気付きを提供するコンテンツを検討します。また、学びの成果の可視化も含めたデジタル技術を積極的に活用していきます。さらに、反転学習や実践的なワークショップといった多様な方法を取り入れるなど、時代の変化に対応できるよう、継続的に刷新していきます。

エ ICTを活用した研修講座の実施

- ・教職員の負担軽減を踏まえ、スマールステップの原理等、プログラム学習の要素を取り入れたスタイル（知識のインプットと実践をセットで繰り返すといったスタイルを想定。）をはじめ、教職員が負担なく選択し、受講できるようオンライン等の手法を活用した研修を実施していきます。
- ・児童生徒の学習の基盤となる資質・能力の一つである情報活用能力の育成を図るとともに、データリテラシーの向上を目的とした研修講座を計画します。
- ・一人一人の教職員が安心して学びに打ち込める環境の構築のため、学びの成果の可視化も含めたデジタル技術を積極的に活用していきます。

(3) 研修体系

ア 令和6年度 奈良県教職員研修グランドデザイン



イ 主に奈良県立教育研究所が行う研修講座編成の基本方針

本県教職員の研修は、奈良県教諭の資質向上に関する指標等及び本教職員研修計画に基づき、これまで教職員として不易とされてきた資質・能力（教育者としての使命感、人間の成長・発達についての深い理解、児童・生徒に対する教育的愛情、教科等に関する専門的知識、広く豊かな教養、これらを基盤とした実践的指導力等）に加えて、時代の変化に対応して求められる新しい知識・技能を学び続けられるよう、キャリアステージに応じ体系的に計画します。

- ・本教職員研修計画にある「奈良の学び」が実現できるよう、本県教職員には「専門的力量」「人間的な魅力・人間性」「学び続ける意欲」の三つの資質向上を図るための研修を実施。
- ・研修講座全体において、「新たな教師の学びの姿」として、「主体的な姿」「継続的な学び」「個別最適な学び」「協働的な学び」の実現を支援するため、キャリアステージごとに示されている資質・能力の育成を図る効果的・効率的な研修を計画し、実施。
- ・初任者研修・新規採用者研修・初期研修においては、多様化する子どもを理解し指導するための基礎的・基本的な知識・技能の習得と愛情をもって信頼関係を構築できる教職員を育成するために計画し、実施。
- ・中堅教諭等資質向上研修においては、学校全体を見渡す広い視野をもち、学校運営に参画する中堅教諭等として必要な資質を高めるために計画し、実施。
- ・上記以外の研修においては、指標及び本教職員研修計画等に基づき、キャリアステージに応じて必要な資質・能力を育成するために計画し、実施。